

# サーブル種目も電気時代に突入 機具一式の購入運動を実施中!

先般ご案内したように世界のフェンシング界はついにサーブル種目にも電気審判器を導入、すでにジュニア世界選手権や世界選手権等で実施しております。当会ではこの報に接するや早く対応。広く全会員に資金援助をお願いし、母校に電気サーブル器具一式を購入すべく運動を開始しました。

た。幸い数多くの会員の方々から賛同を得て、目標資金額(百万円)の七割が集まりました(5月末日現在)。ただし、肝心の製品(西ドイツ製)の方が世界各國の需要に成りきれない現状のため、日本にもまだ全部がそろいきつておりません。

側にはセンサーを取り付け、剣の衝撃によって審判器にトウシユの有無を伝えるというものですが、まだ実物を見ていないので何ともいえません。おそらく7-8月中にはワンセットそろって納入される見通しなので、その際には現役OBを含めお披露目を催すつもりでおります。次回会

報では詳細をお伝えすることが出来るでしょう。フルーレが電気の導入によって大きく変革したように、サーブルもこの1-2年で大きな変化を遂げそうです。一日も早くわが部に電気サーブルを備えたいのは、そういう変化に早く対処し、この分野でリードしたいとの考えからです。まだまだ購入までに時間がありますので、一人でも多く左記へ資金カンパをお願いします。  
第一勧銀四合支店  
(番)一〇〇七八五九  
早稲田大学稲光会

## 若手を含め10人が参加した ソウル五輪視察団の報告

昨年9月、韓国で行われたソウル五輪には、母校から初の代表となった出野晴信(当時人間科学部1年)が出場しましたが、当会からも視察員団が現地に飛びました。日本体育協会が派遣する視察員ツアアの一員として行動を共にしたわけですが、メンバーは金子会長、川名監督、成瀬元監督、北原幹事長はじめ若手会員を含めて10人。いずれも恒例の10月10日パーティーや総会の席上で各会員に参加を呼びかけ、早々と名乗りを上げた会員たちばかりで

10人の枠は早くから埋まってしまうという人気ぶりでした。  
一行は9月26日にチャーター機で出発。ソウル市内のオリンピック・ファミリー・タウンを宿舎とし、3泊4日の視察旅行。到着したのが夕方、その日の午前中に出野選手の出番が終ってしまおうというすれ違いもありましたが、残る2日間、フェンシング会場に通って世界の技術をつぶさに視察しました。またビデオテープに熱戦の様相を収めてきたので、ご希望の方に

はダビング編を  
実費でお分けて  
きるそうです。  
86年のソウル  
アジア大会時  
も川名監督と北  
原幹事長が視察  
ツアアに参加し  
ております。こ  
うした体験は視  
野を広め、フェ  
ンシングに対す  
る見方も大いに  
進歩するもので  
す。今後も北京  
アジア大会(90  
年)バルセロー



フェンシング会場をバックに記念撮影。左から白井、武市、川名、宮の各視察員(撮影は福田会員です)

十五輪(92年)に同様の企画が催される予定なのでふるってご参加下さい。

# 稲光会報

平成元年7月1日発行  
編集者 早稲田大学稲光会  
編 集 者 早稲田 原 輝  
発行 者 北 流 口 久 宏  
題 字 浅 野 印 刷 (有)  
刷 印 浅 野 印 刷 (有)  
第14巻第18号

1ページ... 出野、今度は世界選手権出場  
2、3ページ... '89リーグ戦詳報  
新人部員紹介  
4ページ... サーブルも電気時代に突入

# 出野、今度は世界選手権へ!

## ソウル五輪、ジュニア出場に続く快挙!



昨年、入学早々にソウル五輪代表の座を射止めたスーパーキー出野晴信(人間科学部2年)が、今度は世界選手権の代表になりました。母校からは鈴木村宏元会員(昭和62年度)以来2年ぶり2人目の快挙となります。

ソウル五輪では団体戦2試合に出場。共に1勝3敗の成績でしたが、船水監督によると「イタリア戦では元世界チャンピオンに勝つなど大健闘。ヨーロッパのコーチ連から、ジャポンにすばらしい若い選手がいると注目された」とのことです。若冠19歳の五輪選手が檜舞台で専門家の目にとまった活躍をしてくれたわけです。

今年3月、出野はジュニア世界選手権に出場。予選ブルーを勝ち抜いて、決勝進出者(8人)を決めるエリミナション・ディレクト



リーグ戦でも活躍した山岸選手

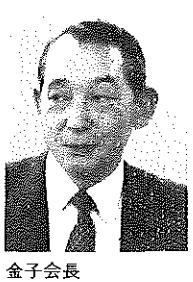
平成元年度の関東学生フエンシング・リーグ戦は4月21日(土)開幕、5月28日(日)までの1か月余にわたる熱戦を展開。わが部は5年ぶりに2部リーグに出場。1部復帰を期して頑張りましたがライバル日体大の前に屈して総合2位に終わりました。(詳報は2-3面に)

(準決勝トナメント)出場16人の中に入りました。そして第1戦を快勝、あと1人に勝てばベスト8入り決定というところまでいき、その試合も7-4でリード(10本勝負)するといふきわどさ。

結局、その後は気持がはやって集中力が欠いたのでしよう、逆転負けを喫してしまいました。しかしソウル五輪といひジュニア世界選手権といひ、出野が世界にあと一步のところまで迫っていることが実証されたわけです。

他校の上級生を相手に健闘しました。  
なお、同選手の父君も早大出身で、学生時代は水泳部に在籍、飛び込みの選手として活躍、その縁で結婚に際しては同じ飛び込みの大先輩である川島体育局事務局長が媒酌入をつとめているという因縁があります。親子二代の体育会選手山岸大輔のこれからの活躍に期待したいものです。

## 稲光会総会で新たに 一二幹事誕生



金子会長

63年度稲光会総会は4月21日午後6時から、母校大隈会館で行われ、金子会長戸谷部長をはじめ多数会員が出席しました。一年間の活動状況、収支決算の報告が行われ了承を得たほか、会長以下全員の留任も満場一致で承認されました。加えて中堅会員層のより活発な参加を図るために34年度の捧暢夫(佐藤工業)・梅井尚志(日銀)両会員が新幹事の指名を受け、出席していた両人の了解を得ました。金子誠会長の話、当会の活動に関し、日頃から広く

会員諸氏のご協力を得て心から感謝しております。再来年の平成3年には創部45周年、5年後には大きな節目である50周年を迎えることになり、当社は益々の発展を願いたいところです。また現役には出野晴信君というオリンピック選手が出て現し世界選手権や次回バルセロー十五輪等での活躍が期待されます。会員の皆さん、仕事に家庭にとご多忙のこととは重々承知しておりますが、どうかこれまで以上のご支援、ご協力をお願い致します。

## ベテラン選手権で成田 会員二種目に優勝!

2年に一度の恒例行事となった都協主催ベテラン選手権は63年11月27日、母校フェンシング道場で行われました。

過去に優勝者は何人か出ておりますが2冠達成は初の快挙。

## 特別選抜、89年は泉亜 学園の山岸大輔くん

平成元年度の特別選抜入試(人間科学部)で山岸大輔(東京・東亜学園)が入学しました。同選手は63年度高校総体(インターハイ)エペ3位の実績で文句なく合格したものの、競技歴としては他に63年度関東大会(水戸市)フルレ個人2位、国体少年の部東京都代表などがあり、高校フェンシング界ではトップクラスの選手として活躍してきま

ました。入学後早々のリーグ戦ではフルレ、エペにレギュラー出場、新人ながら

## リーグ戦一部 復帰ならず

平成元年度の関東学生フエンシング・リーグ戦は4月21日(土)開幕、5月28日(日)までの1か月余にわたる熱戦を展開。わが部は5年ぶりに2部リーグに出場。1部復帰を期して頑張りましたがライバル日体大の前に屈して総合2位に終わりました。(詳報は2-3面に)

# 89年リーグ戦詳報!

無念! 3種目とも常勝校日体大の壁が厚く、総合2位。目標の1部復帰はなりませんでしたが、しかし有望新人が入部し、下級生の層が厚くなったので、来年、再来年を期しての再挑戦を続けます。どうぞご支援ください。

〔総評〕5年ぶりの2部リーグ。初戦の対明大戦(4月22日)は緊張の幕開けでした。トップ出野が前橋育英高時代の同級生・小出にストレート勝ちし、続く小川、津川が連勝してあっさり3-0。これで肩の力が抜け、よく動きまわる明大勢を相手に冷静に対処。スピーディーなアタックの連続と相手のスキを突くコンドルを連発して12-4と完勝、まずは順調な滑り出しでした。続く東農大、国士大と共に2ヶタ勝利で連破し、4月30日、3戦全勝同士の日体大と対決しました。ここが1部復帰の正念場との思いが全員に強くあり、大いに闘志をみなぎらせたのですが、反面固さもみられ、それまでの3戦とはやや様相を異にする動きが目立ったのでした。一方の日体大は「打倒早稲田」の意

気込みに燃え、4人のメンバーがそろって1部のフェンシングを披露するという強豪チーム。固いディフェンスの壁に早大勢のアタックがはばまれ、守ってはグイナミズムのある攻撃を防ぎきれないといった展開が続き、5-11で大敗。力の差をハッキリ感じた一戦となっていました。

〔監督・川名宏美〕

藤倉」とベンチを大いにわかせたものです。結局エベは、主将小川の「来シーズンの戦力を優先したい」という考えで、下級生4人で最後の日体大戦、東農大戦に臨み、負けはしたもののあわやの大接戦を演じて、確かな手応えを感じさせてくれました。

## 89リーグ戦成績(一部)

- ▽フルール
- 早 大12-4 明 大
  - 早 大11-5 東農大
  - 早 大11-5 国士大
  - 早 大5-11 日体大
  - 早 大8-8 立 大
- 〔順位〕①日体大(5勝)②早大(4勝1敗)③立大(3勝2敗)④東農大(2勝3敗)⑤国士大(1勝4敗)
- ▽エベ
- 早 大10-6 明 大
  - 早 大13-3 国士大
  - 早 大9-7 立 大
  - 早 大5-7 日体大
  - 早 大6-6 東農大
  - 早 大10-6 東農大
  - 早 大5-11 日体大
- 〔順位〕①日体大(5勝)②早大(4勝1敗)③東農大(3勝2敗)④明大(2勝3敗)⑤立大(1勝4敗)⑥国士大(5敗)
- 〔個人成績〕出野晴信(14勝5敗) 小川敦行(11勝6敗) 津川敏夫(10勝6敗) 及川啓介(9勝9敗) 津村時教(3勝7敗)



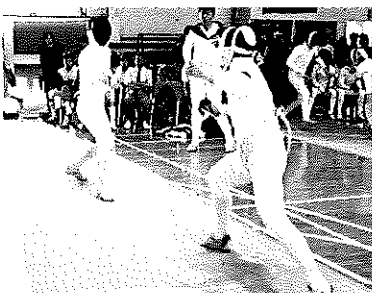
勝ってベンチに戻る北原選手の表情は明るい

- 早 大5-7 日体大
  - 早 大6-6 東農大
  - 早 大6-6 東農大
  - 早 大10-6 東農大
  - 早 大10-6 東農大
  - 早 大5-11 日体大
- 〔順位〕①日体大(5勝)②早大(4勝1敗)③早大(3勝2敗)④立大(2勝4敗)⑤明大(1勝4敗)⑥国士大(5敗)
- 〔個人成績〕出野晴信(14勝6敗) 小川敦行(4勝1敗) 藤倉剛(9勝6敗) 4分
- 早 大5-7 日体大
- 早 大6-6 東農大
- 早 大6-6 東農大
- 早 大10-6 東農大
- 早 大10-6 東農大
- 早 大5-11 日体大

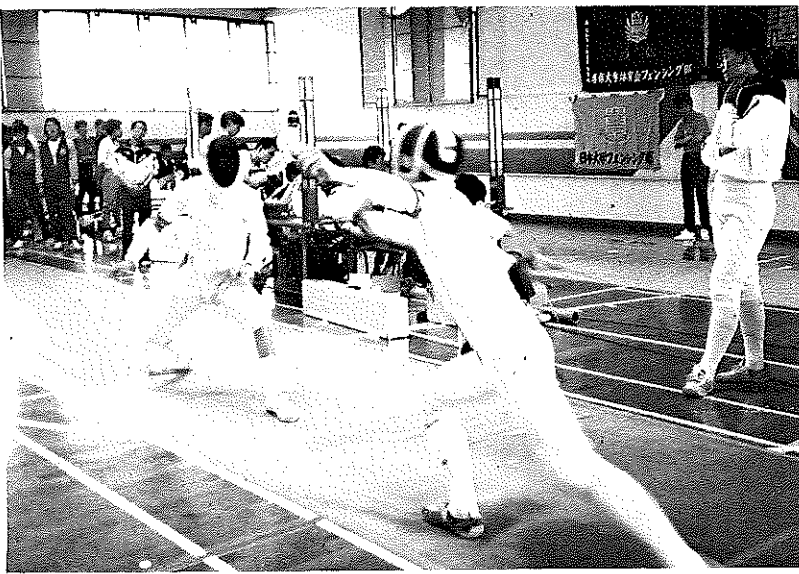
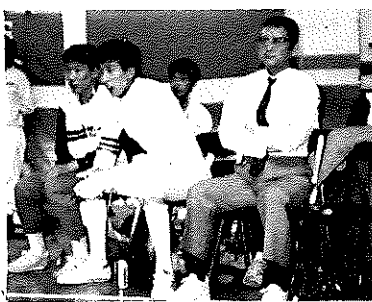
〔順位〕①日体大(5勝)②早大(4勝1敗)③早大(3勝2敗)④立大(2勝4敗)⑤明大(1勝4敗)⑥国士大(5敗)

〔個人成績〕出野晴信(14勝6敗) 小川敦行(4勝1敗) 藤倉剛(9勝6敗) 4分

新人ながら勝負は大活躍



戦況思わしくなく監督の表情もかわしく……



対東農エベ、エース出野(左)も東農勢の大根戦法に苦戦

- 大③中大④日大⑤拓大⑥慶大
- ▽エベ ①中大②法大③拓大④専大⑤日大⑥慶大
- ▽総合順位 ①法大②中大③拓大④専大⑤日大⑥慶大

## 一・二部入替戦で日体大が昇格

- 入替戦は6月4日、サンピア多摩で行われ、日体大が一部昇格、また国学院大が国士大を破って二部に昇格した。
- ◇一、二部入替戦
  - ▽フルール
    - 日体大 9-2 慶 大
    - 日体大 9-4 慶 大
    - ◇二、三部入替戦
    - ▽フルール
      - 国学大 9-2 国士大
      - 国学大 9-2 国士大
    - ▽サーブル
      - 国学大 9-2 国士大

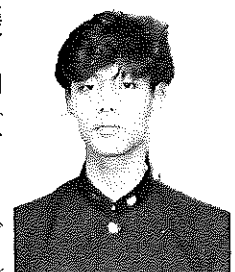
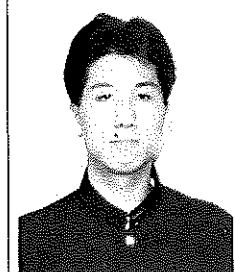


## 早慶戦史上初の5連勝

第41回早慶定期戦は63年12月4日、早大フェンシング道場で行われ、早大が2種目に快勝して史上初の5

## 新人紹介

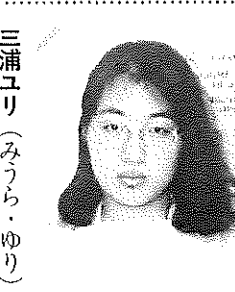
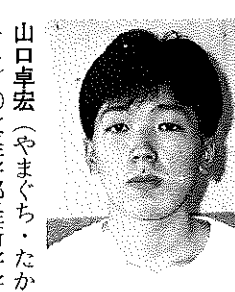
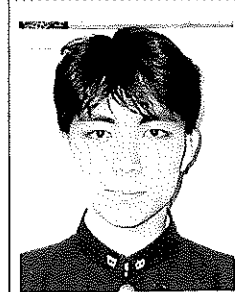
- ①学部、②出身高校③競技歴④身長、⑤体重⑥抱負
- 山岸大輔(やまぎし・だいすけ) ①人間科学部スポーツ学科、1年②東京・東亜学園③3年間④176cm、61kg⑤特別選抜で入学できたので、その役割を果たせるように努力します。
- 藤倉 剛(ふじくら・こう) ①教育学部教育学科心理学専修、1年②東京・早稲田③中等部から始めたので6年間④180cm、64kg⑤偉大な上級生のみなさんについていくつもりです。



連覇を達成しました。春の入替戦で完敗、二部落ちの屈辱を味わせられた相手だけに早大は雪辱の意気に燃えて臨みました。両校とも入替戦と同じ顔ぶれのベストメンバー。ただし、新鋭出野がソウル五輪出場を機

に大きく成長した分だけ早大が有利。フルール13-3、エベ12-4で完勝し、五連覇を決定づけたのでした。サーブルは早大が次年度のメンバーで臨んだために6-9で破れました。通算は早大の24勝17敗。

- 土屋 敬(つちや・たかし) ①商学部、1年②東京・早稲田③3年間④165cm、58kg⑤同級生同士の争いも激烈なので、4年間がんばります。
- 佐藤広子(さとう・ひろこ) ①第二文学部、1年②東京・小石川③初心者④公開できません⑤頑張りますのでよろしくご指導お願いします。



山口卓宏(やまぐち・たかひろ) ①政経学部経済学科、1年②東京・早稲田学院③3年間④172cm、58kg⑤学院の伝統を継承し後輩に伝えるべく努力します。ご指導のほどよろしくお願ひ致します。

三浦ユリ(みづら・ゆり) ①法学部、1年②東京・東京家政学院③都内某私大にて体育実技を修得④秘密です⑤実技と違い部活動としてやるのは大変だと思いますが頑張ります。